

番号
名前

Ⅰ 次の文章を読み、後の問いに答えよ。(解答はすべて解答用紙に記入すること)

近代・現代においても日本の詩人は、へ a へ自然によって詩情を触発されているというケースが非常に多いと思う。三好達治の『A』には「雪」という非常に簡潔な詩がある。

太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。
次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。

葦屋根の古い民家の下で、太郎や次郎が眠っている——この場合、太郎と次郎とは、「X」
うな造りの民家がぼつんぼつんとあって、それぞれの屋根の下に太郎や次郎が眠っている
降りがいいような気がするが——その葦屋根の上に音もなく、まるで「Y」と暖かい掛け蒲団のように真っ白な雪が降り、積もってゆく、へ b へ古い日本のBな美しい風景が、へ c へよく表されている詩であると思う。
ここで、詩人の詩情を動かしているものは、雪という自然そのものであるということが、へ d へ読み取れるであらう。へ e へ、主語は雪なのであるから。
それから、丸山薫の『北国』という詩集に、「雪がつもる」という詩がある。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 雪がつもる | 10 しんとする |
| 2 山の上の小さな学校で | 11 あ、あ、しづかだ |
| 3 けさも始業の鐘が鳴る | 12 まったくしづかだ |
| 4 オルガンひびき | 13 木々が黙って |
| 5 子供達の | 14 それを聴いてゐる |
| 6 本を読むこゑが | 15 何処か谷を隔てた遠くの |
| 7 手を挙げるこゑが | 16 山々の兎や栗鼠達が |
| 8 かん高く聞こえる | 17 耳を立て、じつと |
| 9 そして しばらく | 18 それを聴いている |

坂本越郎氏はこの詩の鑑賞で、雪が積もるといふ東北の山岳地帯では日常のことが「この詩人にとって、大自然を融合」と考えさせ、豊かな親和力を呼び覚ます貴い体験であったといわれる(『日本の詩歌』24)。自然との親和ことであるが、やはり確認しておかなければならないことのように思われる。

(久保田淳『日本人の美意識』より)

- 問1 へ a へ e へに入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。
- 1 じつに 2 はっきりと 3 やはり 4 そういった 5 しかし 6 なにしる
- 問2 『A』に入れるのに適切な詩集を、次のなかから選び符号で記せ。
- 1 在りし日の歌 2 測量船 3 抒情小曲集
- 問3 「X」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。
- 1 一つ屋根の下で 2 なかの良い兄弟で 3 一つ屋根の下でなく 4 兄弟ではなく
- 問4 「Y」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。
- 1 ぼっこり 2 ふんわり 3 しっかりと
- 問5 三好達治の「雪」の詩について、次のabcのうち適切でないものを一つ選び、符号で記せ。
- a 感情を表す言葉を使わないことが、より読者の想像を呼び起こしている。
b 単純な表現であるが、さまざまないろいろな思いがわいてくる叙事詩である。
c 同じ言葉の繰り返しによる韻律で、子供向けの絵のように表現されている。
- 問6 Bに入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。
- 1 寓話的 2 民族的 3 民話的

問7 詩「雪がつもる」の元の形は五連からなる。第二連の始まりはどこからか。詩に付けられた番号で記せ。

問8 詩「雪がつもる」の終連(第五連)の始まりはどこからか。詩に付けられた番号で記せ。

問9 詩「雪がつもる」は、詩人が山形県の西山村というところに住んでいた時のもので、なぜなら詩を読むと土地を単に通過しただけでないことがわかる言葉があるからである。その言葉をそのまま抜き出せ。(五字以内)

問10 「雪がつもる」の詩の鑑賞文の中で坂本越郎氏は、「終連に山の兔や栗鼠を配したのも、その「ア」「話風の発想が「イ」を得ている。」と言ってほめている。「ア」と「イ」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 神
- 2 童
- 3 妙
- 4 時

問11 「C」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 肯定的
- 2 精神的
- 3 汎神はんしん的

問12 「D」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 抽象的
- 2 基本的
- 3 象徴的

問13 「E」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 当然
- 2 必然
- 3 偶然

問14 次の①～⑤の詩人の代表作を、作品イ～への中から選び符号で記せ。

- ① 谷川俊太郎
- ② 茨木のり子
- ③ 黒田三郎
- ④ 石原吉郎
- ⑤ 長田弘
- イ サンチュパンサの帰郷
- ロ 小さなユリと
- ハ 四千億光年の孤独
- ニ メランコリックな怪物
- ホ 鎮魂歌
- ヘ 四千の日と夜

II 次の文章を読み、後の問いに答えよ。(解答はすべて解答用紙に記入すること)

明治初めに米欧を訪れた岩倉使節団は、西欧文化の一つとして公園にも注目した。公式記録『米欧回覧実記』に「西洋人は外に出て人々と交際することが好きであり、それだからこそ小さな町にも必ず公園が設けられている」と記した(大久保喬樹・現代語訳)▼一方で東洋人は自宅近くを好むから、庭をつくるとも述べている。文化比較の①トウヒはともかく、公園は近代都市には欠かせないと明治国家の②ニナイ手たちは考えたようだ▼東京・日比谷などにできた初期の公園は、「A」などと同じく欧化政策の一つだったのだろう。しかし1923年9月1日の関東大震災で、別の「B」性に気づかされる。公園の多くが避難所として、地震の引き起こした火災から人々の命を守った▼その後の復興計画で、隅田公園など三つの復興大公園、さらには52の復興小公園がつくられた。小公園は遊具などを③ソナエた子供の遊び場で、学校の近くに設けられた。その多くは今も地元で親しまれている▼首都を襲った災禍を忘れぬようにと定められたのが、きょうの防災の日である。防疫の話ばかりが続く昨今だが、天災がコロナ禍を避けてくれるわけではない。もしものときに自分の身を守ってくれる広場や空間はどこか。④アラタめて思い起したい▼関東大震災を⑤キに前に進んだのは、公園にかぎらない。正確な「C」が伝わらず、「D」が飛び交った反省から、ラジオの放送開始が急がれたといわれる。過去にあった苦難を思いつつ、⑥カテにできれば。

(「天声人語」 「朝日新聞」令和二年九月一日)

問1 「A」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 講道館
- 2 興譲館
- 3 鹿鳴館

問2 「B」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 有用
- 2 使用
- 3 活用

問3 「C」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 知見
- 2 情報
- 3 報道

問4 「D」に入れるのに最も適切なものを、次の中から選び符号で記せ。

- 1 伝言
- 2 デマ
- 3 号外

問5 ①～⑥のカタカナを漢字に直せ。

配点

Ⅰ

問 14	問 10	問 9	問 7	問 6	問 4	問 2	問 1
①	ア			B	Y	A	a
②	イ		問 8		問 5	問 3	b
③	問 11					X	c
④	C						d
⑤	問 12						e
	D						
	問 13						
	E						

Ⅱ

問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
①	D	C	B	A
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

番号
名前

配点

Ⅰ

問 14	問 10	問 9	問 7	問 6	問 4	問 2	問 1		
① ハ	ア 2	け	4	B 3	Y 2	A 2	a 3		
② ホ	イ 3	さ	問 8	3点	問 5	問 3	b 4		
③ ロ	問 11	も	13		b	X 3	c 1		
④ イ	C 1			4点	3点	3点	3点	d 2	
⑤ ニ	問 12	3点	3点					3点	e 6
	D 2								問 13
	E 1		3点×5＝15点						

Ⅱ

問 5	問 4	問 3	問 2	問 1
①	D 2	C 2	B 1	A 3
当 否	3点	3点	3点	3点
② 担	あれば○ 糧も○			
③ 備				
④ 改				
⑤ 機				
⑥ 糧				

3点×6＝18点